

## 屋外広告物の一般基準 B (由布院盆地景観計画区域内)

※但し、由布院盆地景観計画区域外でも最大限配慮すること

由布院盆地景観計画区域内において、屋外広告物の設置・掲示を行う際には、この地に暮らす人々が相互協力・理解に基づいて由布院盆地の環境を築いてきた経緯を踏まえ、『ゆふいん建築・環境デザインガイドブック』に沿って周囲の町並みや環境との関係に配慮しなければなりません。

### 『ゆふいん建築・環境デザインガイドブック』とは

平成9年に旧湯布院町と地域住民により「ゆふいん建築・環境デザイン協議会」が発足し、『ゆふいん建築・環境デザインガイドブック』（以下『ガイドブック』）が平成12年に作成されました。また、平成23年には、屋外広告物に関する事項を追加する改訂が行われました。

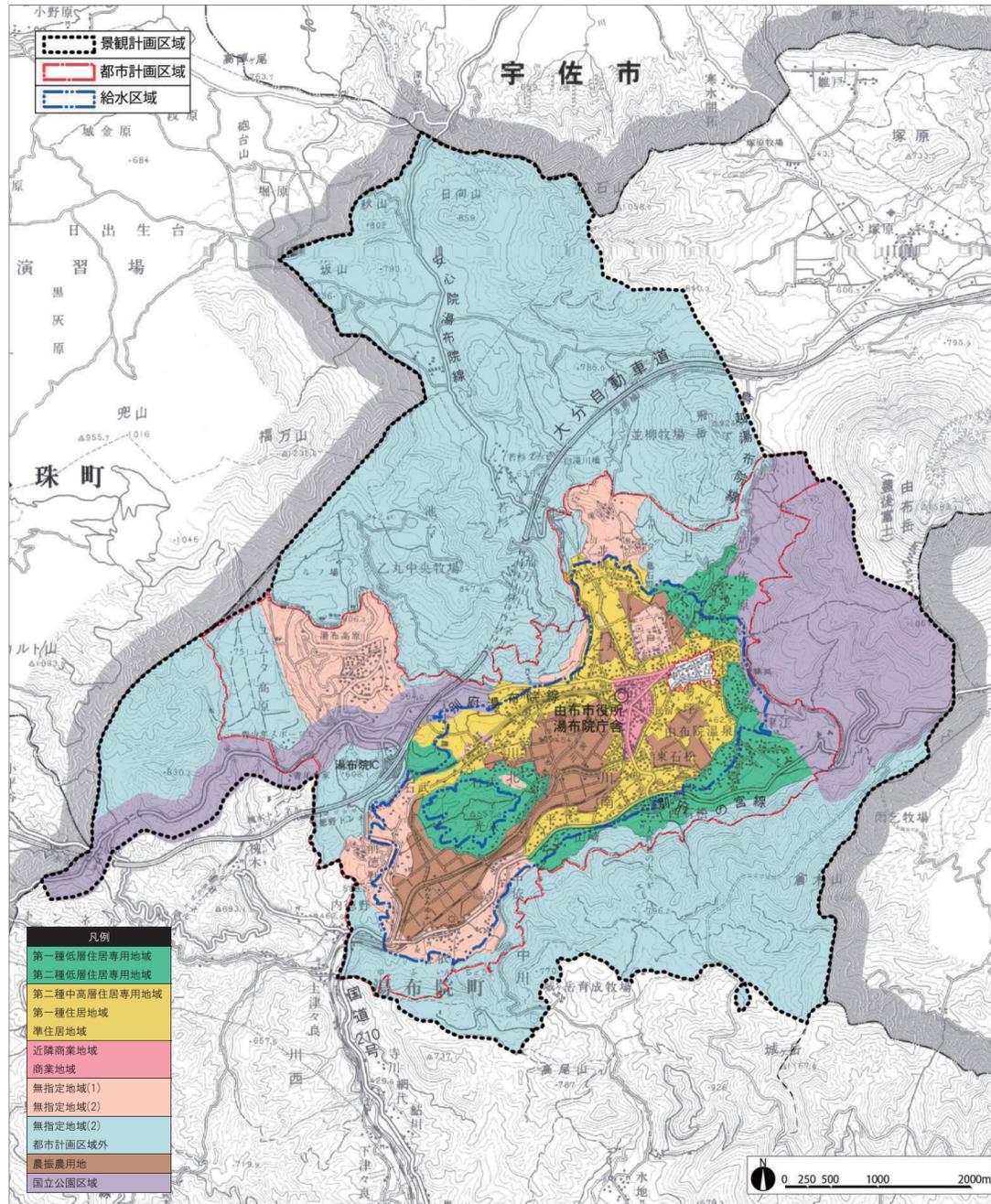
この『ガイドブック』は、創り・守るべき「ゆふいんの風景イメージ」を、地域住民のみならず、ひろく“由布院”に関わる者で共有することを目的として作成されています。



### 看板をつくるにあたっての6つの心得 (『ゆふいん建築・環境デザインガイドブック』より)

1. 盆地の程よい大きさを大切にし、小振りなつくりとする
  - ① 由布山を敬い、眺めを大切にし、高さを低く抑えていく
  - ② 盆地の程よい大きさを大切にし、看板を小さく抑えていく
  - ③ 看板と建物を一体的にデザインし、看板が小さく見えるように工夫していく
2. ひとの尺度を中心に、細やかな配慮を心がける
  - ① 段階的な大きさの変化で空間を構成していく
  - ② まちゆく人や自転車の視点を中心に考えていく
  - ③ 目印となる樹木を尊重する
  - ④ 表情を豊かにする、細やかな部分を大切にしていく
3. 周囲との調和を大切にし、控えめにつくる
  - ① 敷地いっぱいに建てずにできた「ひき」のスペースを大切にする
  - ② 場所と大きさを考えた色づかい
  - ③ 風景や建物と調和した素材
  - ④ 看板同士のデザインのバランスを考える
4. 通りに対して堅く閉ざさないつくり方とする
  - ① 奥を感じさせる看板のつけ方
5. まちゆく人をもてなす空間を、あちこちに用意しておく
  - ① 暮らしぶりや住み手の気配りを魅せる
6. ゆふいん固有の素材感や風合いを大切ににする
  - ① うまく年をとって、周りの風景となじんでいく素材を使う

## 由布院盆地景観計画区域



## 湯布院地域における屋外広告物の設置について

